

再発見！何でも見てやろう

法隆寺訪問

火曜 ABC 木曜 ABC

林 純二 山上田起子



11 月は、ユネスコで世界遺産に登録されている法隆寺に行って来ました。法隆寺は、ほとんどの方が随分昔に拝観したことがあるが最近行った事が無い方が多かったです。

小中学生の修学旅行の生徒他で大変混雑していた。訪問日全て天気で良かった。

JR 法隆寺駅に集合。バスに乗る組と徒歩組に分かれ出発。松並木の参道を歩いて南大門前に到着。シルバー観光ガイド 2 名と合流。

早々 AB2 班に分かれてガイドの案内で拝観を開始した。

法隆寺は見どころが多く 2 時間では充分理解する事ができないが、ガイドの案内で法隆寺の主要な伽藍、仏像等について見て回る事が出来、聖徳太子が遺した歴史遺産を学ぶ事が出来た。夢殿では、特別開扉の期間（10/22～11/22）で夢殿本尊の救世観音（観音菩薩立像）様の厨子が開扉され拝観する事が出来良かった。

ガイド案内終了後は昼食に行く方と中宮寺を拝観する方に分かれた。中宮寺はご本尊如意輪観世音菩薩等を拝観した。その後、昼食へ。

午後の有志での散策は、バスで法起寺へ。現存する日本最古の三重塔他を拝観。その後徒歩で法輪寺へ。多くの重要文化財の仏像が有る法輪寺を拝観した。



南 大 門

金堂 五重塔



夢 殿

[参 考]

法隆寺：七世紀に創建され、古代寺院の姿を現在に伝える仏教施設であり、聖徳太子ゆかりの寺院。創建は金堂薬師如来像光背銘、「上宮聖徳法王帝説」から推古 15 年（607）とされる。金堂、五重塔を中心とする西院伽藍と、夢殿を中心とした東院伽藍に分けられる。境内の広さは約 18 万 7 千平方メートル。西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物群である。1993 年にユネスコ世界遺産に登録された。



中宮寺：法隆寺北にある聖徳宗の寺院。山号は法興山。本尊は如意輪観音。法隆寺に隣接し、聖徳太子が母后のために創建した尼寺である。開基は聖徳太子または間人皇后とされる。



法起寺：奈良県生駒郡斑鳩町岡本にある聖徳宗の寺院。山号は岡本山。本尊は十一面観音。聖徳太子建立七大寺の一つに数えられることもあるが、寺の完成は太子が没して数十年後のことである。「法隆寺地域の仏教建造物」の一部として世界遺産に登録されている。

法輪寺：三井の里にある法輪寺は、聖徳太子の御子・山背大兄王創建とも伝えられ、飛鳥時代の仏像と、昭和 50 年（1975）再建の飛鳥様式の三重塔で知られている。



法起寺



* 法輪寺、
宝物館
* 修学旅行生・・・

